

総務教育常任委員会資料

(令和4年2月25日)

[件名]

- ・鳥取県公共事業評価委員会の答申について（工事検査課）…………… 2

会 計 管 理 局

鳥取県公共事業評価委員会の答申について

令和 4 年 2 月 25 日
工 事 検 査 課

今年度、知事が鳥取県公共事業評価委員会(会長:猪迫耕二鳥取大学農学部副学部長)へ諮問した公共事業について、令和4年1月25日に以下のとおり答申がありました。

また、今年度委員会で改善に取り組んだ内容について、併せてご報告します。

1 答申について

次の3件の再評価事業が審議され、いずれも「継続」が妥当とされた。

評価の種類	評価対象事業	位置	評価結果
再評価	一般国道178号道路改築事業(岩美道路) 審議内容:事業費の増	岩美町	継続 (付帯意見なし)
〃	県営森林環境保全整備林道事業(桑原河内線) 審議内容:事業費の増及び事業期間の延長	鳥取市	継続 (付帯意見あり)
〃	県営森林環境保全整備林道事業(行者山線) 審議内容:事業費の増及び事業期間の延長	南部町	継続 (付帯意見あり)

(付帯意見) ○桑原河内線:引続き地域の意見・実情を踏まえた整備を推進されることを期待

○行者山線:地域に便益を提供するためにも速やかに完成させるよう努力を期待

- ・再評価の対象事業:再評価の実施後さらに5年を経過した事業、その他社会情勢の変化等により知事が必要と認める事業

鳥取県公共事業評価委員会 委員(10名)

会 長	猪迫 耕二	(鳥取大学農学部副学部長)
会長代理	桑野 将司	(鳥取大学工学部教授)
委 員	唐澤 重考	(鳥取大学農学部教授(地域学部兼務))
	白石 秀壽	(鳥取大学地域学部講師)
	藤内 千春	(NPO法人こども未来ネットワーク)
	仲村 美枝	(株)ヴィス・コーポレーション代表取締役
	川原 康寛	(税理士法人パートナーズ代表社員)
	西村 裕美	(鳥取吉方郵便局長)
	岸田 いずみ	(泊綜合食品(株)取締役)
	村江 利津	(山陰海岸国立公園ビジターセンター管理運営協議会事務主任)

2 今年度委員会での改善の取組について

公共事業は、近年頻発する自然災害から生命・財産を守るとともに、地域を発展させるために不可欠な社会基盤の整備を目的としているが、限られた財源の中で、より効果的、効率的かつ適正に執行するためには、公共事業評価委員会の役割はますます重要になってきている。

このため、委員の皆様が評価対象事業に対する理解を深め、県民目線でよりの確に判断していただくため、今年度は新たに以下の項目の改善に取り組んだ。

その結果、委員からは分かりやすかったとの意見をいただいた。

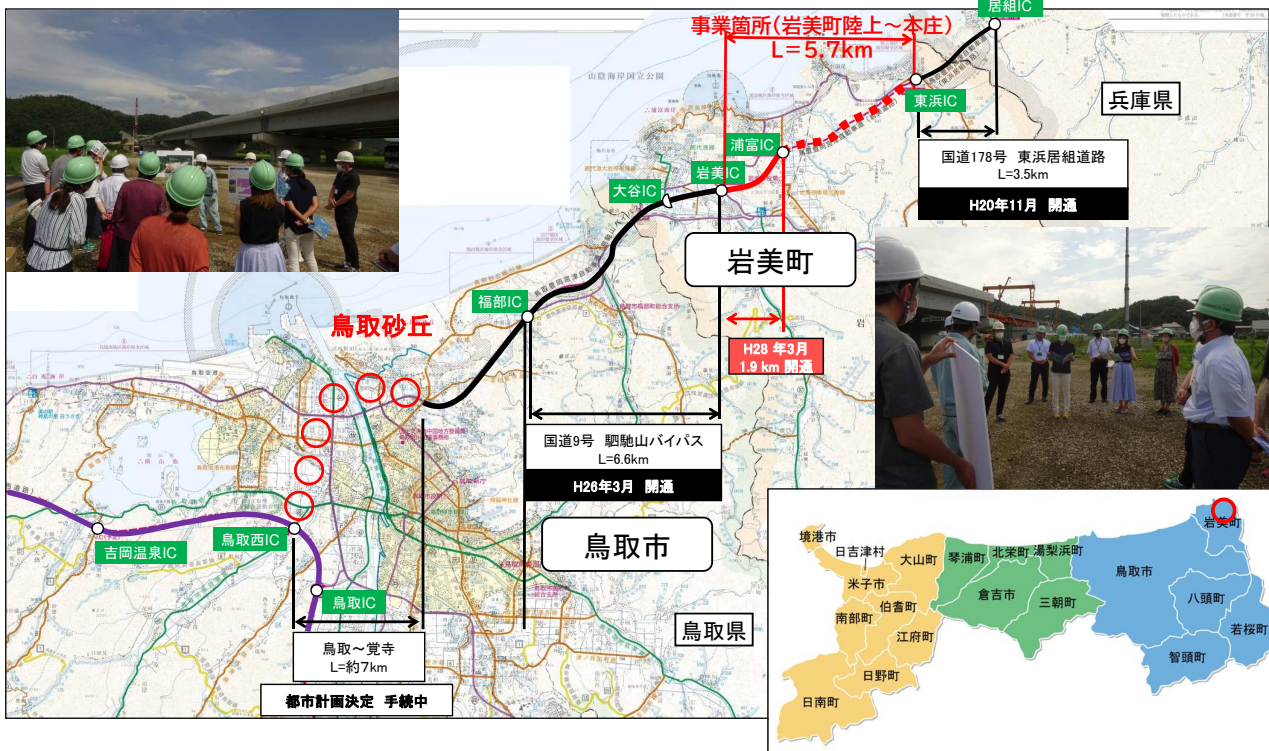
項 目	従 前	改善内容
動画による説明	事業説明を紙資料のみで行っていた。 現地調査を行っても、確認しづらい全体事業の進捗状況、既設部分との関連性や効用について、より分かりやすく説明する工夫が求められていた。	紙資料や、現地調査では伝わりにくい事業の施行状況や必要性を伝える手段として、動画による説明を加え、ドローンによる現場の空撮動画や事業PR動画を用いて説明した。 このことにより、一層の見える化を図ることができ、委員に理解を深めていただいた。

3 添付資料

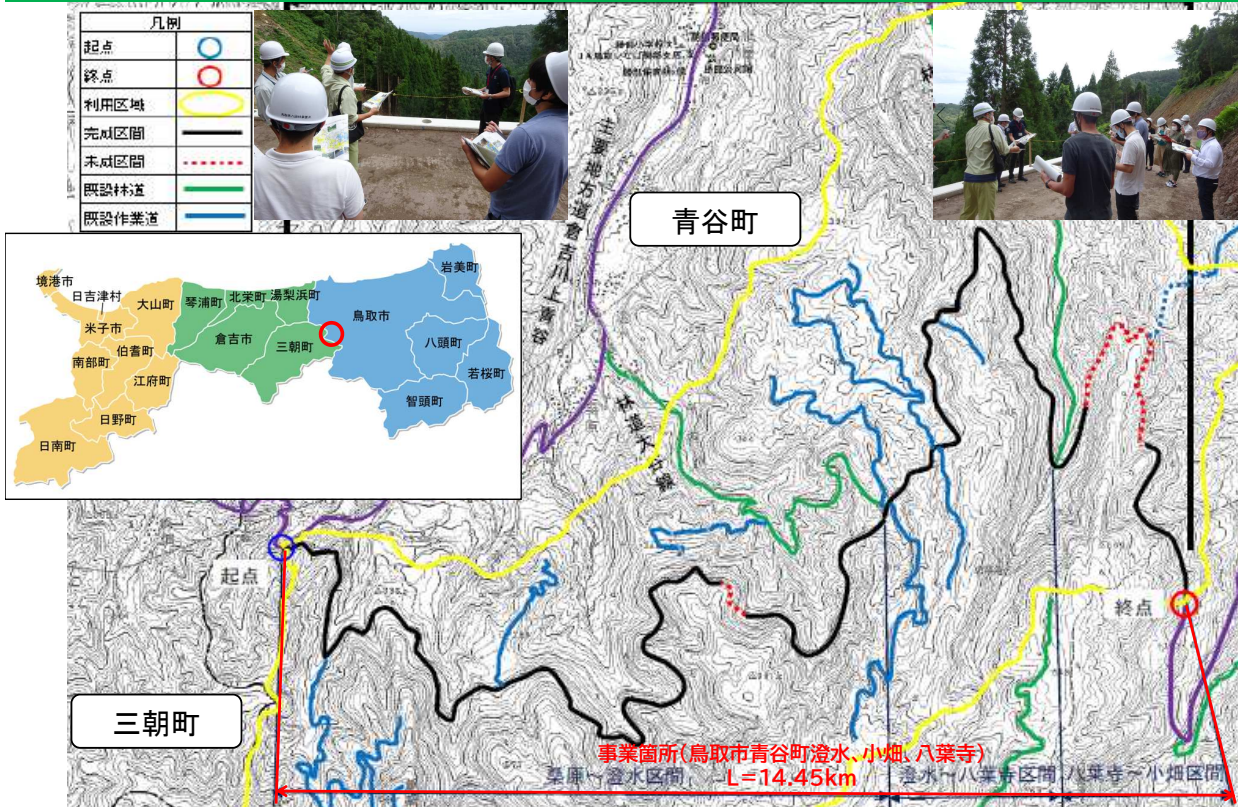
- ・事業位置図:別添1
- ・答申文:別添2

一般国道178号道路改築事業(岩美道路)

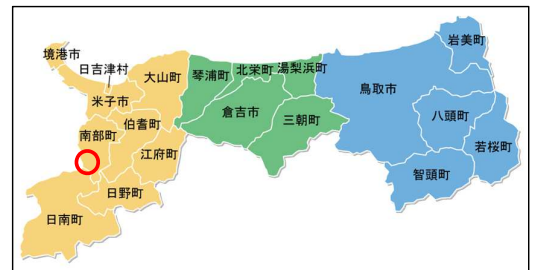
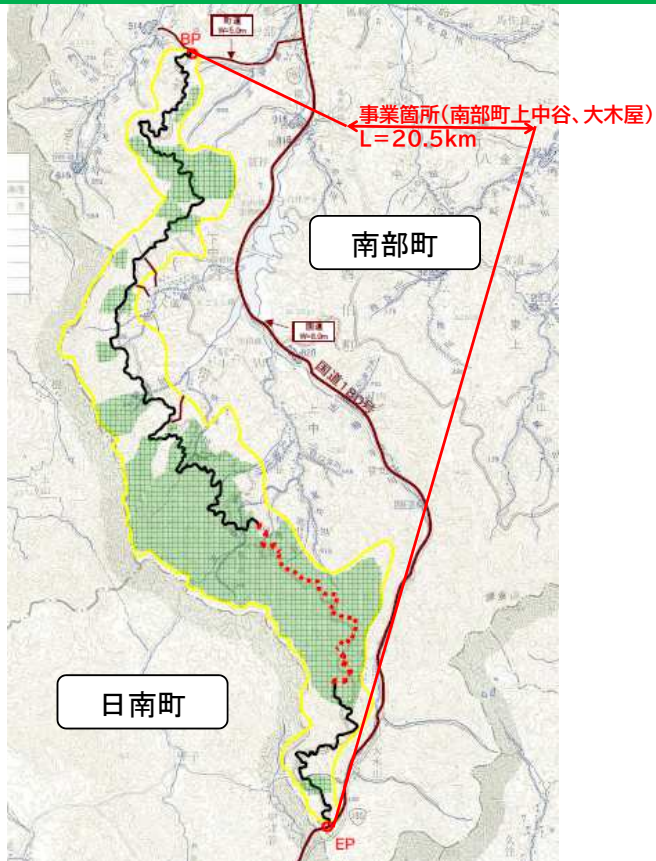
一般国道178号道路改築事業
(岩美道路)



県営森林環境保全整備林道事業(桑原河内線)



県営森林環境保全整備林道事業(行者山線)





鳥評委第2号
令和4年1月25日

鳥取県知事 平井 伸治 様

鳥取県公共事業評価委員会
会長 猪迫 耕二



令和3年度公共事業の再評価について（答申）

令和3年8月26日付けで諮問のあった下記1の再評価事業3件について、下記2のとおり答申します。

なお、当該事業のみならず今後も公共事業の実施に当たっては、効率的・効果的に執行されるよう期待します。

記

1 審議した事業

(1) 再評価事業

- ア 一般国道178号道路改築事業（岩美道路）
- イ 県営森林環境保全整備林道事業（桑原河内線）
- ウ 県営森林環境保全整備林道事業（行者山線）

2 方針及び計画の妥当性並びに審議の概要等

(1) 再評価事業

ア 一般国道178号道路改築事業（岩美道路）

継続・休止・中止等の方針	継続
事業の概要	<p>一般国道178号岩美道路は、地域高規格道路「鳥取豊岡宮津自動車道」（山陰近畿自動車道）の一区間であり、山陰道、中国横断自動車道姫路鳥取線、北近畿豊岡自動車道及び京都縦貫自動車道と一体となって広域的な道路ネットワークを形成し、鳥取県東部・兵庫県但馬・京都府北部の3地方生活圏の連携と地域の活性化に大きく貢献するものと期待される。</p> <p>また、世界ジオパークネットワークに加盟している山陰海岸ジオパークを縦断する主要幹線道路としても大きな役割を担うものである。</p> <p>岩美町陸上から本庄の区間は、沿線地域住民の通勤通学や周辺観光地の振興に重要な役割を果たしているが、周辺に東西交通を担う他の路線が無いため、域内交通と通過交通の混在による交通混雑が朝夕の通勤時間帯を中心に発生している。特に夏期には浦富海水浴場の周辺道路で交通渋滞が発生している。</p> <p>更に、現国道178号には急カーブで見通しが悪い箇所が多く存在しており、交通事故も多発している。</p> <p>岩美道路は、このような渋滞発生区間、事故多発区間、線形不良区間の解消と円滑な交通の確保により、地域間の交流連携強化を図るとともに地域住民の安全・安心を確保するバイパスとして整備中の事業である。</p> <p>(延長L=5,700m、幅員W=7.0(13.5)m、事業費 388億円、進捗率87.5%)</p>

審議の概要	本事業については、事業費の増額に伴う費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況、事業費増額の要因などについて現地で確認した。更に、観光振興や大規模災害発生時の代替ルート機能など費用便益比のみでは表せない定性的効果もあわせて検証し、審議した結果、継続が妥当と判断した。
付帯意見	なし

イ 県営森林環境保全整備林道事業（桑原河内線）

継続・休止・中止等の方針	継続
事業の概要	桑原河内線は、鳥取市南西部の青谷町澄水、八葉寺及び小畑地内の広範囲な森林地帯の有する多面的機能（水源のかん養、国土保全、環境保全、木材生産等）の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展のために、必要不可欠な林道として、整備中の事業である。 (延長L=14,450m、幅員W=3.0(4.0)m 利用区域面積1,126ha、進捗率92.9%)
審議の概要	本事業については、森林の現状、林道の役割、費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況、森林整備状況、森林資源の利用状況、作業道の開設状況などについて現地で確認した。更に、利用区域内の森林資源量による開設効果指数や災害時等の迂回路機能など、林業の振興や利便性などもあわせて検証し、審議した結果、継続が妥当と判断した。
付帯意見	事業の継続にあたり、引き続き、地元への説明が十分に行われ、地域の意見・実情を踏まえた林道整備を推進されることを期待する。

ウ 県営森林環境保全整備林道事業（行者山線）

継続・休止・中止等の方針	継続
事業の概要	行者山線は、南部町南西部の徳長から大木屋地内に至る広範囲な森林地帯の有する多面的機能（水源のかん養、国土保全、環境保全、木材生産等）の発揮及び林業の持続的かつ健全な発展のために、必要不可欠な林道として、整備中の事業である。 (延長L=20,500m、幅員W=3.0(4.0)m 利用区域面積1,175ha、進捗率78.4%)
審議の概要	本事業については、森林の現状、林道の役割、費用便益比の再算定について検証を行った。また、審議にあたっては、事業の進捗状況、森林整備状況、森林資源の利用状況、作業道の開設状況などについて現地で確認した。更に、利用区域内の森林資源量による開設効果指数や災害時等の迂回路機能など、林業の振興や利便性などもあわせて検証し、審議した結果、継続が妥当と判断した。
付帯意見	地元へ便益を提供するためにも、速やかに完成させるよう努力されることを期待する。